

	令和5年7月21日(金) 15時00分～17時15分							
会場	市民プラザあくろす2階はばたき							
運営委員	会場	村上 むつ子	欠席	平澤 和哉	会場	横山 真理	会場	水田 征吾
	会場	加藤 和歌子	会場	毛利 勝	欠席	小松 明日香	会場	原島 秀一
	会場	石井 洋子	会場	阿部 秀樹	会場	浜本 雅樹	会場	石正 房江
	会場	安藤 雄太	会場	佐竹 澄子	会場	熊谷 紀良	会場	松谷 知彦
	会場	田村 敦史	会場	ニンファ・ジャヤマーンナ				
事務局	橋本、池田、佐藤、成田							
オブザーバー	武田、木村、佐山、古川、木戸							

1 はじめに

- ・ 1分間近況報告（各委員）

【協議事項】 15:20～16:50（90M）

2 今期の運営委員会で取り組むテーマについて

資料1

【委員長】2点となる。前回、前々回とグループワークをしてきた意見、アイデアをまとめて資料1として配布している。本日も3グループに分かれ、これまでの案を具体的に詰めていきたい。もう1つは、えんがわフェスタについてとなる。こちらは運営委員が中心となって毎年開催している。今年度なにをやるかを考えたい。えんがわフェスタの内容は運営委員会で取り組むテーマから出たものでも良いと考える。協議事項2を30分位協議し全体共有をして、協議事項3について協議したい。

※ここから、3グループに分かれ、今期の運営委員会で取り組むテーマについて、前回までに出されたアイディアを基にしたグループワーク行った。

【グループ3】

市民活動は自由で楽しいもの。最初のきっかけ入口は、どんな発想や手法でも構わないという視点で話し合いをした。主催側も楽しめて、参加の方もわくわくするような仕掛けを作ることが大事だということをグループで共有した。ただし、場所と人と繋がりへのしなは必要ということで、場所は市民活動支援センターがある。人は運営委員がいる。繋がる仕掛けだけを楽しくやろうということで、調布まち検定の提案も出たが、最終的にミステリーツアーに落ち着いた。調布の知らない部分を自分で探すといったもの。例えば、落ちていた石でもその地域の人には伝承的な意味があるとか。地域で漬物を一番美味しく作れる人を探すなど。調布で一番美味しい和菓子屋さんを調べてみんなで訪ねてみるとか、まず入口で興味を引きつける、人とのつながりが人材発掘にもつながるのではなか。えんがわフェスタでやるのも良いのではないかと話も出た。内容どうやるかまでは協議に至ってないが、ミステリーの視点として、小学校高学年として捉えた場合の視点で、地域にどんなミステリーがあるのかを探ってみるのが良いのではと意見が出た。

【グループ2】

これまで内容を踏まえて、宿題として個人としてやりたいことを考えてくることにしていた。意見として出たのは、継続して続けている居場所探訪を、これまでの蓄積した情報も活用したかたちで、なにかやりたいと提案があった。別委員からは、子育て広場等、乳幼児親子が集えるフリースペース的なものが少ないと感じているのと、スペースがあることさえ気が付いていない方への周知も一緒にやりたいという意見もでた。また別委員からは、調布の外国籍の方のプレゼンテーションや、その方の自国の家庭料理を紹介して、外国人との交流を深める企画はどうかとの提案も出た。入口は料理だが、家族での参加を歓迎して、お子さんを通じた子育て交流にも繋げることが可能ではないかとの提案もあった。また別委員からは、人づきあいの苦手な不登校の中高生へ向けた、子どもたちが興味をもつようことの提案もあった。

【委員】付け加えをしたい。運営委員会に外国籍の運営委員がいるのは今期が初めて。市内在住の外国籍の方が実際どのくらいいるのか、どんな暮らしをしているのかを知る機会がない。センターがつなぎ役となった、市内在住の外国籍の方との交流が出来ると良いのではないかとの発想から意見が出た。料理もだが、乳幼児がいる母親も参加出来るようにして、保育スペースを設置するとか、保育ボランティアを募集して、世界の料理を入口にして、いろんな交流が生まれると良いといった発想。あくろすにはキッチン設備もある。居場所探訪については、居場所を作りたいとか、居場所運営をやってみたいという人や居場所のお手伝いをやりたいといった方向けに、情報をシェアすると共に、資料作りもして、居場所を実際に作った方の体験談を聞いても良いのか。

【グループ1】

2点にフォーカスをして話し合いをした。1つ目が50代男性をどう引きずり出すのか。参加してもらう方法は検討しないとならないが、アイデアとして出たのが、外国人や高齢者向けに調布をガイドするであったり、子ども食堂のお手伝いとかのアイデアが出た。ただし、男性を引っ張り出すにはインセンティブがないと難しいとのことで、参加してくれたことで助かったとか、役にたったという思いを伝えることができるかたちにして参加してもらえる工夫を考えたい。50代男性のインセンティブにつながることも見つかるかと思う。高齢者になる前に50代男性を引っ張り出せると良い。もう1点は、小学生、中学生、高校生まで含まれると考えるが、夜間の孤食が気になっている。働くお母さんが増え、母親の帰宅時間の18~19時位までの子どもたちの居場所が増えると良い。既存の子ども食堂は月に1回や日中の昼ご飯帯の開催が多い。夕方以降夜帯の時間で、子どもたちが集える場所やサービスを充実させていけないものか。出来る出来ないは別にして個人宅を開放することで、1カ所でも子どもたちの居場所が増えると良いといった話もした。いろんなスタイルのスペースがあっても良いので子どもに限らない、多世代が利用できる食堂であれば老若男女の参加も可能。調布在住の外国籍の子どもたちに向けたイベントも良いのではないのか。ちょっとだけ年上のお兄さん、お姉さんとの交流の場についても話があった。高校生、大学生のお兄さんお姉さんが、小学校高学年くらいから中学生の子どもたちの交流で、大人からの言葉ではない、ちょっとだけ年上の人からの言葉だと素直に受け入れてくれることがあるのではないかといった話もあった。

【事務局】全部が良い意見だと考える。今後優先順位をつけながら実施出来ると良い。この後、えんがわフェスタでの取り上げたい内容についての協議に移るが、本日出た意見やアイデアから取り上げても良いのではないかと。

### 3 えんがわフェスタの開催時期と内容について

資料2

- ・えんがわフェスタの目的と過去の企画の内容

資料2を参考にし、3グループに分かれ、今期のえんがわフェスタで取り組みたい内容やテーマについてのアイデア出しのグループワークを行った。

#### 【グループ1】

- ・親子で楽しめるスタンプラリー
- ・調布のクイズを出す、調布の見どころクイズ大会的なものはどうか  
→次年に行ってみることも出来るかも  
※with grow（地域活動団体）主催の調布に詳しい人「調布王」決定戦はどうか
- ・運営委員も楽しめるもの
- ・たくさんの方の目にふえるイベント的なもの？（お祭り感のあるもの）
- ・だれでも参加できるけど、50代の男性をターゲットにするか？
- ・ミステリーツアーは良い 居場所とかカフェとかも繋げても
- ・以前にやったランチめぐりをもう1回やっても良い

#### 【グループ2】

- ・〇〇の一番的なもの
- ・つなぐ、つながっていく、というビジョンがあると良い
- ・自分の取り組み自慢や、居場所自画自賛をこれから居場所の立上げを考えている市民向け発信する
- ・居場所探訪プロジェクトの取り組みの着地点を探る。
- ・昨年のような居場所巡りは、実際に回って思ったことは、体験ツアーと言いつつも一拠点に長く滞在できず、掘り下げて考えることができない。

#### 【グループ3】

- ・手法はこれからの検討になるが、ミステリーツアーをやってみたい
- ・世界の家庭料理を食べてみたい  
→その方の自国料理のきっかけにして、日本に来たきっかけ等を聞いたりしての交流も出来ると良い

【委員】フェスタはフェスタとして1日盛り上げて楽しく過ごすのが良い。ミステリーツアー、クイズ形式的なもので開催出来ると良い。居場所探訪は、ずっと継続してやっているのだから、えんがわフェスタではなくて、もう少し小さなイベントとして別開催しても良い。世界の家庭料理は、市内にいらっし

やる外国籍の方とも繋がって、興味がある委員でチームを組んで、年間を通しての定期開催するセンターの事業にしても良いのではないか。

【委員長】 えんがわフェスタの開催日程はどうするか。

【事務局】 昨年度は11月6日の日程で開催をした。今期の本日出たアイデアをまとめて、11月に開催は難しそう。元々えんがわフェスタは2月に開催をしていた経緯がある。センターの開設が2月ということにあわせての開催をしていた。昨年11月に開催は、コロナ感染状況が冬になると増加傾向がみられたので、前倒しでの開催をした。2月に戻すものありではないかと考えるが、皆さんいかがか。

※異議はなし

随分先の日程だが、委員の多数参加出来る日程を抑えたいので、本日開催日程は決定をしたい。候補日として、1月の20日(土) 21日(日)、2月3日(土) 4日(土)、2月17日(土) 18日(日)から選択いただくと、センタースケジュール的にはありがたい。3月には、まち活フェスタという大きなイベントを3月の2週目の週末に実施予定になるので、候補日より遅れた日程になるとイベントが連続する日程になってしまう。日程を2日間にしているのは、開催規模によって前日準備が必要な場合を考慮しての日程でお伝えをしている。この時点でスケジュールがある方は、それぞれ候補日程をあげていくので、ダメな方は挙手をいただきたい。

※結果、2月18日(日)の開催と決定した。

【事務局】 来月8月は運営委員会がお休みとなる。本日出されたアイデアが2ヶ月間も空いてしまうのはもったいないので、えんがわフェスタについては小さい部会を開催したい。8月中のえんがわフェスタの部会に参加いただける委員がいらっしゃれば、この場で挙手をいただきたい。

※結果、5名の委員が部会参加となった。

【事務局】 では、5名の委員の皆さんをえんがわフェスタのプロジェクト部会メンバーとして承認いただきたいが、皆さん宜しいでしょうか。

※異議はなし

【事務局】 本日のアイデア出しの結果を参考にしながら、えんがわフェスタのプロジェクト部会メンバーで議論をして、次回9月の運営委員会前に皆さんにも内容を事前共有したい。そこから漏れた取り組みについては、小さいプロジェクトとして進めていくかたちとしていきたい。

## ●協議結果

- ・今期の運営委員会で取り組むテーマについては継続して審議とした。
- ・えんがわフェスタの開催日程は令和6年(2024年)2月18日(日)とした。
- ・えんがわフェスタのプロジェクト部会メンバーの承認をした。

【報告事項】 16:50~17:00 (10M)

4 調布サマーボランティア2023について

- ・7月8日(土)申込受付終了 延べ140人程度

【事務局】記載にもあるが、今期サマーボランティアは、7月8日に申込みの受付を終了した。受付数は述べ140人程度だったことをご報告します。

#### 5 ちょうふチャリティーウォークについて

【委員長】開催日をリマインドでお伝えすると10月29日(日)、チャリティーウォークを開催します。委員皆さんに参加をいただきたい。予定しててください。内容については、本日夜間の時間になるが、チャリティーウォークの実行委員会がある。また報告したい。

#### 【その他】17:00~17:15 (15M)

#### 6 情報共有

【委員】居場所探訪を継続して20カ所近くまで進めていきたい。つつじヶ丘にある古い一軒家でいろんな活動をされている、もえぎ家さんへ8月6日(日)に藍染めのイベントがある。有料ですが、個人的にも興味があるので参加する予定。取材もお願いしていて16時~の約束となっている。新しい運営委員の方と一緒にいける方がいらっしゃればご連絡ください。また、居場所情報もあれば教えていただきたい。

【委員】配布資料にもあるが、東京市民活動支援センターの主催で、区市町村ボランティア市民活動支援センターの運営委員及びセンター長の合同会議を毎年やっている。今回は調布の市民活動支援センターと委員会の皆さんにご協力いただいて、この会場で開催をする。9月15日(金)の13:00~17:00での開催予定となる。オプションプログラムとして、午前中にちょうふチャリティーウォークの体験もある。皆さんには分科会の話提供の部分でもご協力お願いしたい。夜間帯には運営委員会もある日程となるが、是非参加をいただきたい。

【オブザーバー】子ども食堂についてお知らせをさせていただきたい。2つの大きな子ども食堂の開催予定がある。1つは西部公民館で行われていた上石原たんぼぼという子ども食堂が暫く休止をしていた明日7月22日に9ヶ月ぶりの開催をする。飛田給地域での子ども食堂を、皆さんにも広報いただければありがたい。もう1つは、8月9日に電通大で子ども食堂が例年通り開催される。アメフト部との交流も予定されている。普段交流することのない大学生の交流が、大学への進学を考えるきっかけにもなってくれたらと考えている。

【事務局】2点。ボランティア募集のおしらせとちょビット協力金のお願いになる。ちょビット協力金だが、社協事業の1つで年間を通じた世代間交流活動の小地域交流事業、地域のつながり作りのひだまりサロン、市民活動支援センターのランチにもなっている野ヶ谷の郷の活動は、ちょビット協力金で賄われている。7月は増強月間となっている。自治会からも回っているかもしれないが、運営委員の皆さんにも活動を応援していただきたい。もう1つは、社協事業ではないが、知的障害の方が、中学校を卒業して、余暇活動をする際のサポートをしているのが、杉の木青年教室というところになるが、一緒に活動してくれるボランティアを募集している。皆さんも是非広報協力をいただきたい。

7 今後の市民活動支援センター運営委員会の開催日時と議案について

資料3

- ・ 9月15日（金）19時～21時
- ・ 10月21日（土）10時～12時
- ・ 11月18日（土）10時～12時
- ・ 12月19日（火）19時～21時